



# Challenge

～チャレンジ～



## 楽しい夏休みをお過ごしください

1学期も終わり、いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。夏休みはたくさんのご事にチャレンジして、その経験をさらなる成長につなげてもらいたいと思います。お子さまと一緒に夏休みの過ごし方について話し合い、健康で安全な生活をお過ごしください。

1学期の間、保護者の皆様にはたくさんのご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。2学期もよろしくお願いいたします。

### ☆2学期始業式

9月2日(月) 8:00~8:15

B時程 午前授業

**持ち物** 通知表ファイル(表紙のみ) → 1学期の学習と行動の紙を抜いてお戻しください。

上履き 防災頭巾 夏休みの課題 雑巾2枚(1枚に記名をしておく)

連絡袋 連絡帳 筆箱 タブレット

\*夏休み中に、校帽、防災頭巾カバー、体操着(帽子のゴム)、絵の具、色えんぴつ、クレパス等の点検をし、補充、修繕をお願い致します。

### ☆引き渡し訓練 9月2日(月)

時程は以下の通りです。災害時引き渡しカードに記入のない方が来る場合や、迎えに来られない場合は、連絡帳などで事前連絡をお願いします。【予定】11:35 保護者集合 学校長の話

11:40 引き渡し開始



### ☆道具箱の中について

色鉛筆・クレパス・はさみ・のり・30cmものさし

### ☆学校置き of 教科書等について

書写・図工(下)・生活(下)・音楽・鍵盤ハーモニカ練習帳・道徳・心あかるく  
(すでに持ち帰っている国語(上)・算数(上)は2学期も使用します。)

### ☆ノートについて

夏休み中に各教科のノートの残りのページをご確認いただき、余裕をもって同じマス目のものを購入してください。国語ノート(15マス十字リーダー入り) 算数ノート(17マス)

### ☆ミニトマトの鉢について

9月2日(月)~6日(金)の朝の登校時もしくは放課後~16:30までの間に、保護者の方が元あった場所に持って来てください。お子様の名前が薄くなっている方は油書きしてください。

### ☆生活科のおもちゃづくりについて

生活科「うごくうごくわたしのおもちゃ」の学習では、授業でおもちゃを作成します。Teamsにて配信する生活科の教科書のP.56~58を参考にして、お子さんと作りたいものを相談の上使えそうな材料を集めておいてください。

材料の参考：紙コップ 輪ゴム カップラーメン、うどんなどのカップ 乾電池 牛乳パック  
乳酸菌飲料の容器 トイレットペーパーの芯 ペットボトル 竹ひご 割り箸  
発砲スチロールのトレイ 折り紙 など

# ☆ 9月はじめの行事予定

※ (5)・・・5時間授業の下校時刻は14:25頃

【 : 】は特別な下校時刻

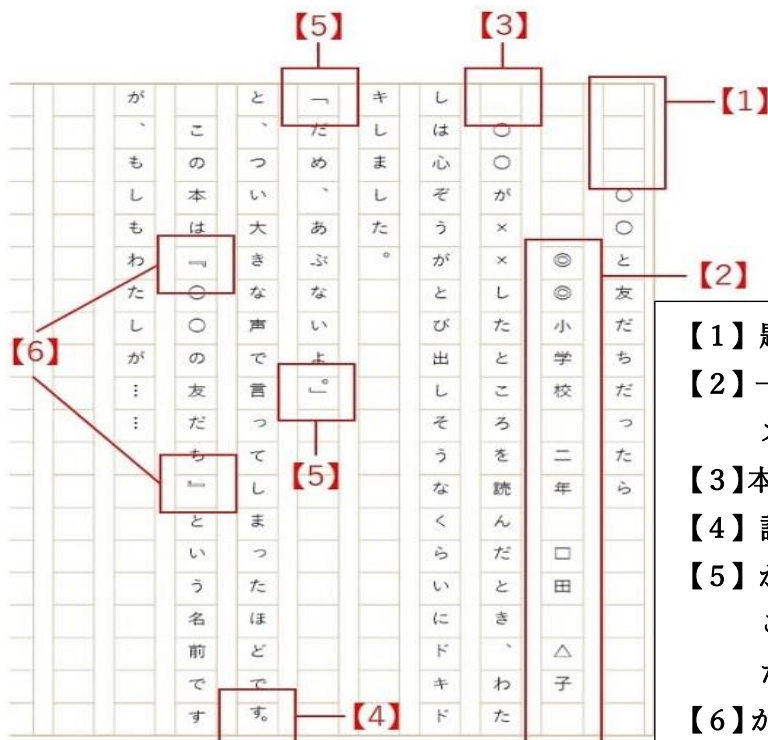
月	火	水	木	金
2【11:40】 始業式 B時程 引き渡し訓練	3【14:15】 B時程 5時間授業 給食始 持ち物 道具箱	4【13:15】 児童集会 4時間授業 水泳指導 なわとびウィーク始 夏休み作品展始 (~9月14日まで) ろっくこAS 持ち物 水泳バッグ	5 (5) 朝自習 たてわり班会議 ろくスポタイム (たてわり班縄跳び)	6 (5) 朝読書

※上記以外の持ち物については、担任より連絡があります。

## ☆ 夏休みの宿題

- ① 夏休み用ドリル……宿題と同様に、丸付けもお願いします。  
間違えた問題は、直しをします。(答えの冊子が付いています。)
  - ② 絵日記(2枚)……絵は色鉛筆を使って描きます。
  - ③ 自由作品……工作、絵、日記、旅行記録、町たんけん新聞など
  - ④ 観察カード(実)……赤く熟した実を観察する。(赤くならない場合は緑の実を観察する。)
  - ⑤ 読書5冊以上……「夏休み読書貯金箱」に記入します。  
上記①~⑤は、学校に提出します。
  - ⑥ ドリルパーク……自分のペースで少しずつ取り組んでいきましょう。
- 読書感想文について……今年度の江戸川区の「小学校読書感想文コンクール」への参加は希望制となりました。自由作品として取り組むことも可能ですが、コンクールの基準(本文800字)以内の文字数となるようお気を付けください。

## ☆ 読書感想文の書き方



- 【1】 題名は3マスあける。
- 【2】 一番下のマスを空けて氏名を書く。姓と名の間は1マス空ける。第六葛西小学校、学年も書く。
- 【3】 本文の書き始めや、段落が変わるときは1マス空ける。
- 【4】 読点(、)や句点(。)は1マス使って書く。
- 【5】 かぎかっこ「」は1マス使って書く。心の中で思ったことや強調したいことを書くときには改行せず、話したことを書くときには改行する。
- 【6】 かぎかっこの中でさらにかぎかっこを使う場合は二重かぎかっこ(『』)を使う。書籍の名前を書く場合も二重かぎかっこを使う。